

標準抵抗器
HMR - 100G

取扱説明書

- S O U K O U -

本社，工場 〒529-1206 滋賀県愛知郡秦荘町蚊野 215
TEL 0749 37 3664 FAX 0749 37 3515
東京営業所 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町三友ビル3F
TEL 03 3258 3731 FAX 03 3258 3974

第1版

目次

安全にご使用いただくために.....	2
1 . 仕様.....	3
2 . 回路図.....	3
3 . 各部名称.....	4
4 . 校正試験.....	5
5 . 使用上の注意.....	5
6 . 外形図.....	6
保証書	

安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくため、試験装置をご使用になる前に、次の事項を必ずお読み下さい。
また、仕様に記されている以外で使用しないで下さい。
試験装置のサービスは、当社専門のサービス員のみが行えます。
詳しくは、(株)双興電機製作所にお問い合わせ下さい。

人体保護における注意事項

- | | |
|---------------------|---|
| 感電について | 人体や生命に危険が及ぶ恐れがありますので、各測定コードを接続する場合は、必ず指定の端子であることを確認して接続して下さい。 |
| 電氣的な過負荷 | 感電または、発火の恐れがありますので、測定端子には指定された範囲外の電圧を加えないで下さい。 |
| パネルの取り外し | 機器内部には高電圧を印加する箇所がありますので、パネルを取り外さないで下さい。 |
| 機器が濡れた状態での使用 | 感電の恐れがありますので、機器が濡れた状態では使用しないで下さい。 |
| ガス中での使用 | 発火の恐れがありますので、爆発性のガスがある場所では使用しないで下さい。 |

機器保護における注意事項

- | | |
|------------------|---|
| 使用電圧 | 指定された範囲外の電圧を印加しないで下さい。 |
| 故障と思われる場合 | 故障と思われる場合は、必ず(株)双興電機製作所または、販売店までご連絡下さい。 |

1. 仕様

測定抵抗範囲 : 0 / 10 M / 100 M / 1 G / 10 G / 100 G

抵抗値の許容差 : 本器の抵抗値の許容差は、JIS - Z 8703に定められた標準状態（標準温度 23℃，標準湿度 65%）において下記の通りです。

抵抗値	許容差
10 M	± 1 %
100 M	± 1 %
1 G	± 1 %
10 G	± 1 %
100 G	± 5 %

最高使用電圧 : DC 10 kV

抵抗素子の定格電力 : 3 W

抵抗素子の温度係数 : ± 200 P P m / °C 以内

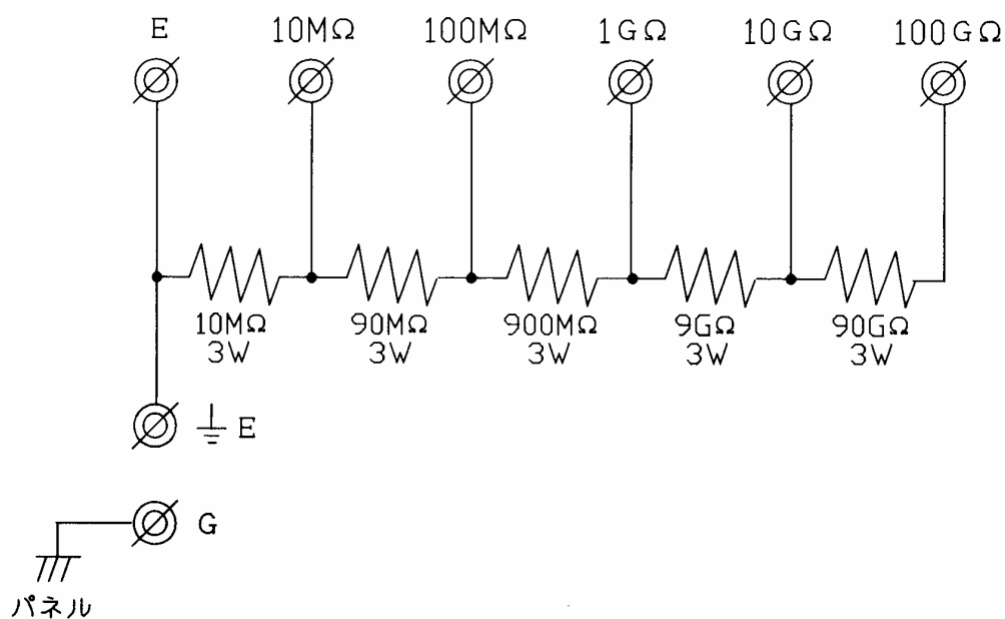
外形寸法 : 320 (W) × 200 (D) × 165 (H)

重量 : 約 3 kg

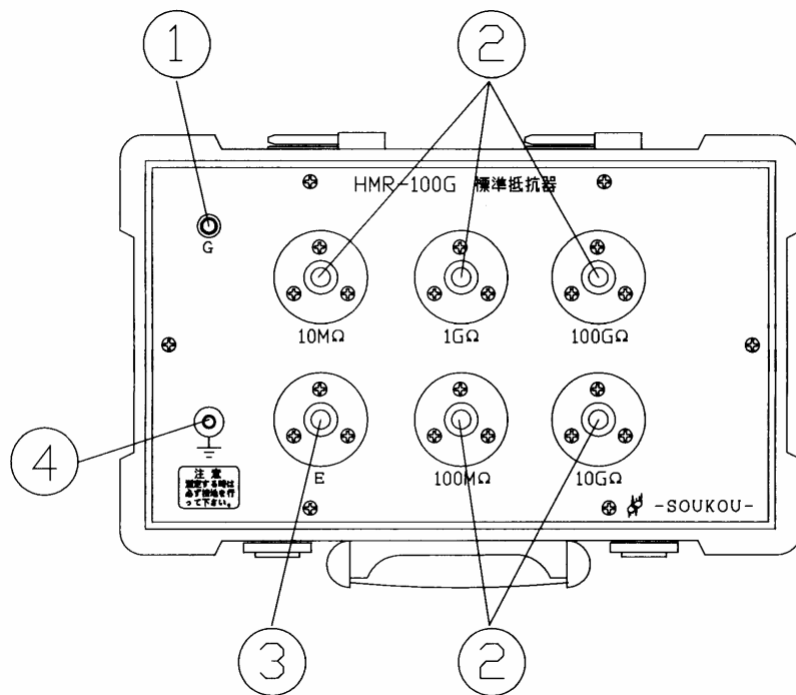
付属品

・取扱説明書（本書） 1部

2. 回路図



3. 各部名称



1. ガード端子 (G)

高圧絶縁抵抗計のガードコードを接続します。
(測定対象となる抵抗以外の漏れ抵抗が、指示に影響するのを防ぎます。)

2. 抵抗端子 (0 / 10 M / 100 M / 1 G / 10 G / 100 G)

高圧絶縁抵抗計のラインコードを接続します。
(E 端子間との抵抗値を表示)

3. アース端子 (E)

高圧絶縁抵抗計のアースコードを接続します。

4. 接地端子 (E)

本器の接地用端子です。測定時には必ず接地するようにして下さい。
* アース端子 (E) と内部で接続されています。

4. 校正試験

- 1) 本器と高圧絶縁抵抗計を下記の(図1)のように接続して下さい。

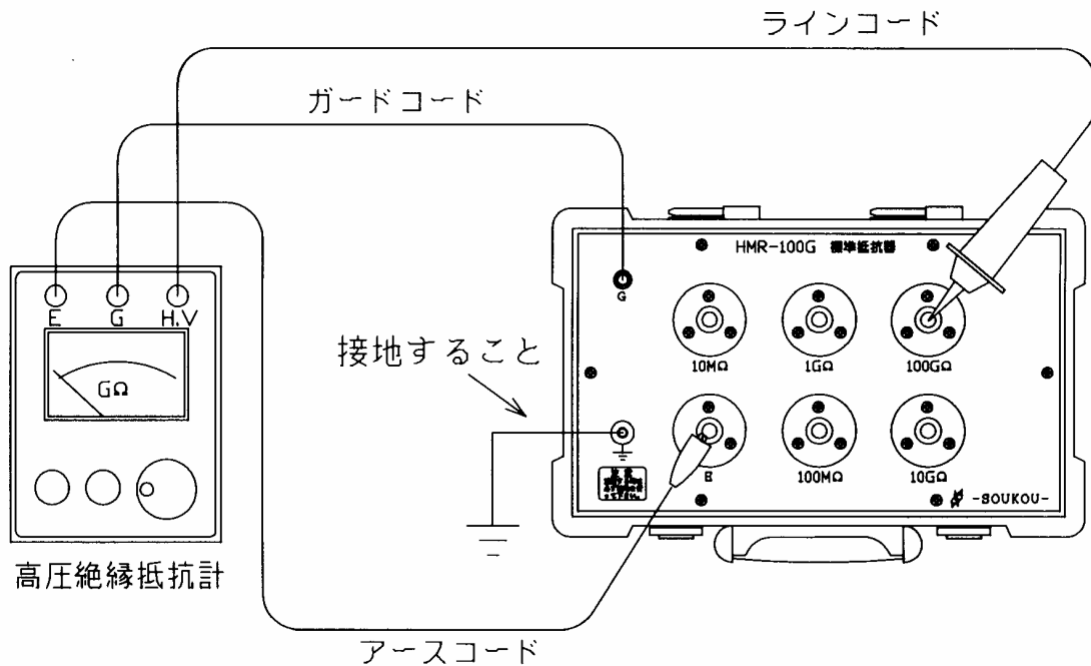


図1：接続方法

- 2) 本器の付属の接地コードを用いて、接地端子(E)を接地して下さい。
- 3) 高圧絶縁抵抗計のガードコードを本器のガード端子(G)に接続します。
- 4) 高圧絶縁抵抗計のアースコードを本器のアース端子(E)に接続します。
- 5) 高圧絶縁抵抗計のラインコードを校正しようとする抵抗端子に接続します。
- 6) 高圧絶縁抵抗計の操作手順に従って校正を行って下さい。

5. 使用上の注意

- 1) 各コードの接続を充分確認してから試験を行って下さい。
- 2) 高電圧絶縁抵抗計のアースコードはアース端子(E)に接続し、ラインコードは抵抗端子に接続して下さい。もし接続が逆の場合間違えて試験を行うと、接地端子(E)の絶縁破壊を起こす恐れがありますので絶対に間違わないで下さい。
- 3) 高電圧機器を取り扱うため、安全性を充分考慮して試験を行って下さい。
- 4) 結線及び校正時の抵抗切り替え時は、高電圧絶縁抵抗計の出力を“OFF”にしてから必ず行って下さい。
- 5) 高圧絶縁抵抗計のコード類は、定期的に断線、絶縁不良等がないか点検して下さい。

6 . 外形図

